



			竹下 竜之介 / 吾田東小	
			年	

「中学

ごめなせ時間を世に静か着い来櫻の正全たは神様愛を和動遊費た心居着被た時キハは校費の理或費ます

高橋 奏介 / 東大宮中	曾我部 泰知 / 東大宮中	萩原 和伽 / 東大宮中	寺岡 結菜 / 東大宮中	岡本 証人 / 久峰中
年	年	年	年	年

「一

お感謝の心考き来す此城の時脈伊羅田口福子カ野田数穂是来道は教を世が切な始が送るかの場給中校入勇依

稲富 智也 / 有水小	戎浦 理砂 / 吾田小	松浦 圭一郎 / 東大宮中	岩田 久美子 / 綾小	南園 政幸 / 夏尾小
保護者	保護者	保護者	保護者	そのかわり 保護者

コラム 三輪車

保護者主体のPTA活動を 力く展開！

都城市立上長飯小学校
教 部



上長飯小学校は、都城市の南東部に位置する児童数728名の学校です。本校は、子どもたちが「今日も学校に来てよかった！」と日々、充実感が味わえる学校づくりに努めており、学校全体がとて落ち着いています。特色ある行事として、子どもたちと保護者、地域の方がふれあう「上小祭り」があります。その他、米作りなど地域の方々の協力を得て取り組んでいる活動も多いです。

本年度は、全国的なコロナウイルス感染拡大の影響により、本来のPTA活動ができていないのが現状です。そのような中、PTAの方々がコロナウイルス感染防止のための手洗いの場を確保するために、一つの蛇口から硬めのホースを伸ばし、途中に穴を開けて、同時に15名の児童が手洗いができるようにしてくださいました。おかげで、外遊びの後の子どもたちの手洗いの徹底が図られ、感染防止に役立っています。

このように、本校のPTAは、「主体性」と「スリーワーク(フットワーク・チームワーク・ネットワーク)」を大切にしています。

今後も、PTA、地域の方々とともに子どもたちの将来の姿を共有しながら、地域の特色を生かした教育活動を展開していきたいと思えます。

学校・家庭・地域が一緒になり、未来を担う田原っ子を育てる

～中学校を核とした地域コミュニティの推進～

【高千穂町立田原中学校】（矢津田 誠二校長 生徒数19名）

本校は、宮崎県の北西部に位置し、学校の屋上から熊本県境に架かるループ橋を望むことができます。祖母山や三秀台などの自然豊かな農林畜産業を中心とした世界農業遺産に指定された地域です。小学校隣接地から昭和37年に現在の場所に移転してきました。平成13年に校舎、体育館を含め大規模な改修工事が行われ、その時に緑の木々の中でも目立つようにと校舎がピントに体育館がエメラルドグリーンに塗装されました。現在は全校生徒19名、P戸数16戸の小規模校です。昭和22年に開校し74年目を迎えますが、令和3年3月をもって高千穂中学校に統廃合されることが決まっています。田原小学校との合同運動会やあいさつ運動などの小中連携、地元の春祭り・秋祭りの踊り、太鼓、冬の神楽など、積極的に参加しています。また、少人数だからこそ、P・T・A・地域が一体となり、学校を支え、子どもたちを見守る姿がうかがえます。その一部をご紹介します。

【PTA家庭教育学級】

毎年、第1回目の家庭教育学級で、親子で物作りに挑戦し、自分だけの作品を文化祭で展示することを目標としています。今



家庭教育学級

年のアドバイスを聞きながら親子や友達と相談する姿が見られ、有意義な時間となりました。

【PTA親子奉仕作業】

年2回5月と8月に行っています。緑豊かな学校なので、放置しておくすぐに膝丈ぐらゐの雑草に覆われてしまいます。そこで、自分たちの使っている学校敷地をきれいにしようとして、生徒たちも保護者が刈った草や枝を集める



奉仕作業

年は陶芸に挑戦しましたが、自由創作でしたので、それぞれが湯飲みやコップ、皿など思い思いの個性あふれる作品作りに没頭しました。講師

【花いっぱい活動】

6年前より自分たちの手で花を育て、「卒業式を花でいっぱいにしたい」という思いから、生徒会を中心に始まった活動です。高千穂高校生産流通科と連携し、パンジーやビオラの種植えからポット苗の植え替え作業を行っています。また、4月には朝の登校の見守りなどをしていたいでいる民生委員の方と一緒に校内の植樹作業を行いました。統廃合後も花いっぱいの学校として残るようにと花の咲く苗を植えています。その中には、子どもたちがどこにいても永遠に輝き続けてほしいという地域の願いを感じます。



花いっぱい活動

【教頭 小野 秀俊】

編集後記

「ママきてー！最近よく言うてる娘ちゃん。これは相談ね！」「母としてはりきって意見を述べさせてもらう。」「ん…と娘ちゃんの顔がくもる。私…でした！」「私もよくある…話を聞いてほしいだけのとき。」「うんうん。」「目を見て相つち。最後に『それは大変だったね。』と一言。するとニッコリ笑顔に。」

「ママきてー！」は親子ではなくて、女同士のことね。これからも女同士たくさんお話しして、スッキリ笑顔ですごそうね。 内山

今年は、コロナで学校行事等が中止や変更。私も仲間と作る、タレ作り等がようやく8月から再開。その中でも、味噌作りは年に一度の同窓会みたくて楽しみ。味噌作りの合間のお菓子作りと昼食作りは、ワイワイとぎやか。今年も美味しい味噌が出来ますように。これからは、検温・マスクと体調管理は必須で生活しなきゃ。 梅野

先日、中学生の娘と文化発表会のスローガンを一緒に作成しました。私が学生時代に美術部だったため、ついつい細かいアドバイスを出してしまいましたが、このような形で娘と同じことができる日が来たことを、とても嬉しく思いました。 田中

今年は「コロナ禍により、生徒が楽しみにしている学校行事の規模を縮小せざるを得ませんでした」が、体育大会や合唱コンクールに全力で取り組む生徒の姿は例年以上に素晴らしいと感じました。子どもたちの笑顔や歓声は最高です！ 菊池